PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-005631

(43)Date of publication of application: 10.01.1990

(51)Int.Ci.

H04B 7/15

H04B 7/005

(21)Application number : 63-155832

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

22.06.1988

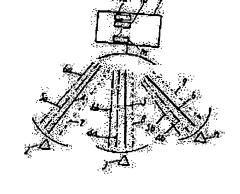
(72)Inventor: ODA HIROBUMI

(54) TRANSMISSION POWER CONTROL SYSTEM FOR SATELLITE COMMUNICATION (57)Abstract:

PURPOSE: To compensate precipitation attenuation by a fixed quantity and to attain a satellite communication system to be operated by plural ground stations can be operated by the plural stations by detecting satellite receiving power data at every incoming line frequency from the plural stations and transmitting the data to each ground station.

CONSTITUTION: In order to transmit signals for communication from a ground station 2 to ground stations 3 and (n) satisfying a prescribed channel quality, the transmission power is controlled by calculating precipitation attenuation quantities of incoming channel 4-6. Namely, a satellite reception power detection circuit

1a sends back the detecting data of the satellite



reception power when it rains at the incoming channel 4 to the ground station 2 after superposing the data upon telemeter signals and performing frequency conversion. The ground station 2 calculates the precipitation attenuation quantity by comparing the sent satellite reception power when it rains at the channel 4 with already known data of fine weather and transmits the signals for communication to the stations 3 and (n) by increasing the effective radiation power of the station 2 by the attenuation quantity. Similar transmission power control is performed based on detecting data transmitted from satellite reception power detection circuits 1b and 1n when it rains at the incoming channels 5 and 6 of the ground stations 3 and (n).

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

9日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫公開特許公報(A) 平2-5631

@Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

母公開 平成2年(1990)1月10日

H 04 B 7/15 7/005

7323-5K 7323-5K

H 04 B 7/15

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

69発明の名称

衛星通信送信電力制御方式

頤 昭63-155832 の特

@出 頤 昭63(1988)6月22日

@発 明 者 H 博 文

兵庫県尼崎市塚口本町8丁目1番1号 三菱電機株式会社

通信機製作所内

መ出 人 顔 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

個代 理 人 弁理士 大岩 外2名 増雄

> M . ##

1. 発明の名称

南垦通信送信司力制御方式

2. 特許湖求の範囲

複数 (3 局以上) の地球局が衛星を介して通信 を行う有星通信方式において、これら地球局間間 志で一定の回神品質を保持する為に、新屋の実効 放射電力を降雨減衰量に関係なく一定とする手段 として衛星での受信信力を検出し、そのデータを テレメータ信号に重張して通信信号を送信してい る地球局へ送り返し、降雨減衰による送信幣力の 低下を補正することを特徴とする衛星通信送信電 力韧御方式。

3. 発明の詳細な説明

(産 奏 上 の 利 用 分 野)

この発明は衛星通信送信電力制御方式に関する ものである。

(従来の技術)

第3回は昭和53年度電子通信学会光・間波部門 全国大会予研・給文番号 182 「BS主局の上り回

線降雨蔵衰の補償方法について」に示された 従来 の衛星通信送信電力制御方式を示す構成図で、図 において、(1)は南星、(2)、(3)は地球局、(4)は上り 回線、ほはテレメータ回線(下り回線)、白は下 り回線である。

次に動作について説明する。荷星山に荷星受信 何力を検出する回路を設け、とのデータを変調後、 大限力増幅しテレメータ信号と電優させてテレメ ータ回族(5)を介して、送信地球局(2)へ送り返す。 送信地球局はは地球局はへ流信用信号を一定の回 練品質を保持出来る様にして送信しようとするが、 上り回線(1)で降雨による縁度が発生した場合には、 その試交気に応じて回線品質が劣化する為、との 降雨減衰量を上記テレメータ回線にて伝送される **領風受信電力から推定し、その分だけ送信地球局** (2)の実効放射電力を増加させる。 こうすることに よって、送信地球局印から地球局印へ送信する道 信信号の回線品質を一定とすることができる。

(発明が解決しようとする課題)

従来の衛星通信送信律力制御方式は以上のよう

に協成されていたので、複数局(3局以上)による運用は考慮されておらず、2局間の単一被運用(上り回線/下り回線各一波)にしか適用できないという問題点があった。

この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、複数局による運用ができるとともに、2局間でも複数放による運用ができる所足遜信送信管力制御方式を得ることを目的とする。 (課題を解決するための手段)

この発明に係る衛星通信送信符力制御方式は衛星受信可力の検出を複数局から送信される複数の 関放数対応で行ない、各周被数でとに衛星受信符 力データをそれぞれの地球局へ送り返し、各地球 局がその受信データを基にして降雨減衰量を貸出 し、その補正分だけ送信地球局の実効放射市力を 増加させることにより、所定の回線品質を一定と する6のである。

て作用う

この発明における衛星通信送信電力制御方式は 衛星受信電力の検出を複数局からの上り回線周波

低を下記の手段で算出して送信電力を制御する。 即ち、衛星受信電力検出回路(la)により、上り回 線(4)が降雨時の衛星受信符力の検出データを、テ レメータ信号に低低して构放数変換して地球局(2) へ送り返す。上り回線(いが晴天時の衛星受信電力 は既知であるので、地球局(2)ではこの晴天時の既 切データと、 荷星(I) から送られてくる上り回線(I) が降雨時の布星受信電力とを比較して降雨蔵寮魚 を抑出し、この誠袞分だけ地球局(2)の実効放射電 力を増加させ、地球局の及び地球局のへ送信する 通信用信号の頻星の実効放射度力を一定とし、所 定の回移品質が満足出来る様にする。 地球局(3)及 び地球局(1)の上り回線(5)(6)が降雨時の場合も、上 記と同様、類型受保智力検出回路(1b)、(1n)によ って送信される検出データより送便印力制御を行 45.

なお、上記実施例では新星受信電力を各地球局からの上り回線の規放数でとに検出する回路を、各上り回線周放数でとに設けた場合を示したが、新星受信電力検出回路を1つだけとし、上り回線

数でとに行ない、それぞれ周被数変換して検出データを始球局へ送信することにより、複数局及び 複数被による新原通信運用を行なうことを可能と する。

(実施例)

以下、この発明の一実施例を図について説明する。

領1 図において、(1) は衛星、(12)、(1b) …(1n) は複数局からの各上り回線周被数でとの衛星受信 和力検出回路、(2)、(3)、…、(4) は地球局、(4)、(5)、(6) はそれぞれ他の地球局へ通信信号を送信する為の上り回線、(1)、(6)、(6)の間放数に対応した衛星受信電力の検出データをテレメータ信号に電量した下り回線、(5a)、(5b) は、地球局(3)から送信する通信信号の下り回線、(6a)、(6b) は地球局(4)から送信する通信信号の下り回線である。

第1回において、地球局(2)から地球局(3)及び地球局(3)へ通信用信号を所定の回線品質を満足する様に送信する為に、上り回線(4)~(6)での降雨減衰

また、既 2 a 図の構成では衛星受信用力の検出 データの送信期被数を、各地球局毎に変えた場合 を示しているが、これを 1 波(周波数 fr)のみと してもよく、この場合の他の実施例を第 2 c 図に 示す。俄 2 a 図と同様、検出回路(1a)入力のサン

特開平2-5631(3)

ブラによって、上り回娘(()、(s)、(d)の衛星受信符力を順次検出し、下り回娘問被数 f5一被によるTDNA(時分割多元接続)によって、第 2 d 図に示すタイミングで各地球局(2)、(3)、(d)に送信する。各地球局(2)、(3)、(n)ではあらかじめ定められたタイム・バースト・ブランによって、それぞれの新星受信電力検出データ P4、 P4を取得し、このデータに基づま送信頼力制御を行なり。

(発明の効果)

以上のようにこの発明によれば、複数局からの上り回絡周放数でとに衛星受信用力データを検出し、そのデータを各地球局に送信する様にしたので、複数の地球局による衛星通信方式において、一定最の降雨減衰を補止するこの発明による送信
町力制御方式によって所定の回線品質を保持できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1 図はこの発明の一実施例による衛星通信送信事力制御方式の構成図、第2a 図は、この発明の他の実施例1による衛星通信送信報力制御方式

図において、(1)は南望、(2)、(3)、(4)は地球局、(4)、(5)、(6)は上り回線、(7)、(6)、(9)は,それぞれ上り回線(4)、(5)、(6)に対応した衛星受信電力の検出データを電景した下り回線、(1a)、(1b)、(1n)は新星受信電力検出回路、(5a)、(5b)は地球局(3)から送信する通信信号の下り回線、(6a)、(6b)は地球局(4)から送信する通信信号の下り回線を示す。

なお、図中、同一符号は同一、または相当部分 を示す。

代 埋人 大岩增雄

